

## 恭賀新年

会員の皆様をはじめ、関係者の皆様とともに、健やかな新年を迎えられましたことを心よりお喜び申し上げます。

昨今の若年層の介護職離れや、急速な少子高齢化の進行等により、福祉現場における人材不足はますます深刻化し、今後、このような状態が続けば、福祉サービスの質・量の低下へとつながり、サービス利用者の生活に大きく影響をもたらしかねません。また、経済の分野におきましても、米国発の金融危機に端を発した混乱により景気の減速が進み、景気がいつ浮上するのか、復調の兆しが見えない状況にもあります。このような中、私たちの「県民の生活を守る」という使命は、ますます重要なものとなってきています。

本会では、こうした福祉を取り巻く環境の変化に迅速、かつ的確に対応し、福祉人材の確保・定着を重点課題とし、福祉サービスの質の向上に努めています。また県民一人ひとりの福祉への理解と参加をより一層進め、「ともに生きる福祉社会づくり」に向けて、会員の皆様をはじめ、多くの県民の皆様とともに、着実に事業を推進してまいります。

皆様には、旧年にも増してご理解、ご支援を賜りますとともに、良き年となりますよう祈念し、新年のご挨拶いたします。



社会福祉法人

神奈川県社会福祉協議会

会長 林 英樹

「みんながともに生きるまち」を描いて、くともしびポスター・  
絵本コンテスト表彰式開催

昨年十二月六日、第二十九回ともしびポスター・第二十二回ともしび絵本コンテスト表彰式を県社会福祉会館において開催し、総勢九十四名の受賞者の表彰を行いました。

「みんながともに生きるまち」をテーマにしたこのコンテストには、県内の児童・生徒の皆さんからポスターの部に千二百二十七点、絵本の部には百八十三点もの心温まる作品が寄せられました。当日は天候にも恵まれ、受賞者の皆さんのご家族も参加し、和やかな雰囲気での式が催されました。

会場内の作品展示コーナーでは、児童・生徒の皆さんが自分の作品を前に笑顔、ピースサインで写真を撮ってもらった様子や、ご家族同士で互いのお子さんの作品を賛え合う様子が見られました。

ポスターの部では、講評を画家の土田邦彦さんからいただき、「皆さんの心の優しさそのものが

『ともしび』であり、どのポスターにもその思いが描かれておりました。どれも甲乙が付け難く、審査は本当に苦労しました」と全ての作品をねぎらう話をされました。絵本の部では、県立総合教育センター指導主事の井上達也さんから講評をいただき、「皆さんの作品は自由で『のびのび』とした線で描かれおり、技術だけではない、心の豊かさを表現することの大切さを改めて感じました」と、作品の「表現力」の素晴らしさについて話されました。

入賞作品は、三月十四・十五日にかながわ県民センターで開催される「市民活動フェア2009」等で展示をします。



子どもたちの作品を通して、皆さんの心の「ともしび」がより暖かく燈されることを心より願っております。

(くともしび運動推進担当)